

授業科目

社会福祉専門ゼミI

担当教員名 松山 茂樹	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

社会福祉の基本的・専門的テーマをとりあげ、学生が自主的に学習し、その成果を報告し、それに基づく討論を行う。各担当教員の記載するゼミ概要をもとに自分が最も関心をもっているテーマと関連するゼミを選択し、入門的文献を読み、調査研究を共同して行い、社会福祉に関する主体的学習方法を体得するように図る。具体的な学習内容、運営計画は各ゼミで決定する。

授業の目的

社会福祉に関する専門的なテーマに基づいて、主体的に学習することで理解を深める。

学習目標

1. 選択したテーマに関する文献・資料・情報を検索・収集することにより、社会福祉の動向や課題について調べる。
2. 選んだテーマから、社会福祉学と基礎・関連諸科学との関連について考察する。
3. 選んだテーマから、社会福祉学と保健・医療などの関連について考察する。
4. 選んだテーマから、人権尊重や人間理解の在り方について考察する。
5. 学習した成果を口頭で報告し、レポートにまとめる。
6. 討論に参加し、共同思考する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ゼミ選択（学科合同オリエンテーション）。専門ゼミの位置づけ、各担当教員の方針を説明する。	ゼミ選択	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
2	各ゼミの運営計画をたてる。	ゼミ生相互紹介、役割分担	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
3	各ゼミの運営計画に基づくゼミ活動	各ゼミの運営計画の実施	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
4	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
5	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
6	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
7	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
8	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
9	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
10	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
11	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
12	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
13	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
14	ゼミ活動のまとめ（1）	ゼミ活動の総括	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口

15	ゼミ活動のまとめ (2)	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
----	--------------	----	-------------------------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	使用しない。					
参考書	ゼミ担当教員が随時紹介する。					
その他の資料	各ゼミそれぞれが資料を使用する。					

評価方法

1.授業参加（発言、役割の分担遂行など）2.レポート、ゼミ論文
以上から評価する。

履修上の留意点

ゼミは、学生の自主的・集団的学習活動を促進することを目的としているので、積極的に参加し、個人学習と共同学習を統一的に進めてほしい。

オフィスアワー・連絡先

松山研究室（E棟313）
毎週水曜日午後15時以降
E ¥ mail:matuyama@nuhw.ac.jp